

がんと心臓一心堂・かかりつけ病院一心堂

# ISSHINDOW NEWS

OFFICIAL  
HOMEPAGE



1 月号

2026.1.6 Tue

【発行】社会医療法人岡村一心堂病院 広報部 岡山市東区西大寺南2-1-7 086-942-9900

## 2026年 年頭のご挨拶

社会医療法人岡村一心堂病院  
理事長・院長 岡村 暢大

謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は、数ある医療機関の中から当院を選び、ご利用いただきました多くの皆様に心より御礼申し上げます。

当院は、地域の病院としての役割を果たすべく、多種多様な患者さんの受入に努めております。2023年から2024年にかけては、呼吸器内科、消化器内科、放射線診断科、緩和ケア内科の新しい医師を迎え、診療体制を強化いたしました。また、これに併せ、医療の質の維持・向上のため、医療機器の計画的な更新も進めてまいりました。これもひとえに、近隣の医療機関の先生方および介護・福祉施設の関係者の皆様との、日頃からの緊密な連携の賜物であり、多大なるご支援に深く感謝いたします。

さて、昨年の世界情勢による影響は、医療業界にも深刻な影を落としております。医療材料費や医薬品価格の高騰、電気・ガスといった光熱費の上昇など、病院経営を取り巻く環境はかつてないほど厳しい状況が続いております。当面の間、この厳しい状況は改善しないものと予想されます。

このような難局にあっても、より良い医療を提供できるよう、業務の見直しやコスト削減の徹底といった経営の効率化をこれまで以上に図り、皆様から信頼される医療機関であり続けるよう職員一同、努力してまいります。

「がんと心臓 一心堂 かかりつけ病院 一心堂」

皆様のこの一年のご健勝とご多幸を祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。本年も岡村一心堂病院をどうぞよろしくお願い申し上げます。



裏面では、隔月企画「地域をつなぐ医療と介護」の第4弾として、  
「サービス付き高齢者住宅 アップルウッド西大寺」との連携をご紹介します。◇  
お見逃しなく！



## 地域をつなぐ 医療と介護

第4回は、サービス付き高齢者住宅 アップルウッド西大寺をご紹介します。住まいとしての安心感と、医療・介護が身近にある環境を大切にし、入居者様がその人らしく過ごせる日常を支えています。今回は訪問看護ステーション管理者の杉本さえ子様に、施設の想いと医療連携の大切さについて伺いました。



< Information > 岡山市東区金岡東町1-1-38 電話:086-942-0555

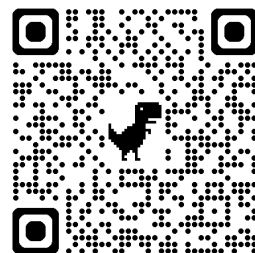
医療ケア対応サービス付き高齢者向け住宅

## アップルウッド西大寺

- ・ サービス付き高齢者住宅
- ・ 訪問看護ステーション(24時間対応)
- ・ 訪問介護ステーション(24時間対応)
- ・ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
- ・ 居宅介護支援事業所

**Welforce Inc.**

Alone we can do so little;  
together we can do so much.



Home Page ▶▶▶

## 思いやりと協力が支える、暮らしの安心

アップルウッド西大寺では、入居者様や在宅で療養されている方が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、「その人の立場で考えること」を大切に支援を行っています。入所中の支援においては、末期がんや難病、経管栄養、たん吸引、感染症対応など、医療的な配慮が必要な方の受け入れを強みとしています。夜間には喀痰吸引等研修を修了した介護スタッフを配置し、何かあったときに困らせたくないという思いを日々の支援の中で大切にしています。日々の生活支援やりハピリを通して状態を丁寧に見守りながら、医療的な判断が必要な場面では、速やかに提携医療機関と連携できる体制があることは、大きな安心につながっています。岡村一心堂病院様には、訪問診療をはじめ、万が一の際の受診や入院の受け入れ先としてご協力いただいております。看護師同士が直接情報を共有できる関係性が、迅速で的確な判断につながっていると感じています。また、在宅で生活されている方についても、日々の体調や生活の様子を丁寧に見守りながら、必要に応じて医療につなぎ、退院後も地域での生活を支える関わりを続けています。思いやりをもって関わること、そして職種や立場を越えて協力すること。その積み重ねが、入居者様やご家族に安心していただける支援につながっていると考えています。



2025. 12. 10

## いつも見えてくるのは

私は看護師として訪問診療に同行しています。職員の皆さんは、どなたも生き生きと入所者の方と関わっておられるのが印象的です。ちょっとした体調の変化にもよく気づき、すぐに相談してくださるので、医療との連携がとてもスムーズで安心できます。今後も連携を大切にしながら、その方らしい暮らしを一緒に支えていければと思います。

医療福祉連携部長  
内田 純子